



製品情報



## インク 小売店陳列用（リテールレディ） パッケージ向けインク



変化の絶えない小売の市場環境の中で、サプライチェーンを通して商品を保護する機能を持ちながら小売りでの商品の売れ行きを促す役割も持つ「小売店陳列用パッケージ(RRP)」の需要が高まっています。これは別名リテールレディパッケージとも呼ばれています。

RRPは、パッケージング業界の中でも急成長の分野となっており、Smithers Pira 社（梱包、紙、印刷業界サプライチェーンの世界的な権威）の調査によると 2011 年にはその規模は 540 億ドル（約5.4兆円）に及びました。2011 年から 2017 年にかけてその市場規模は世界的に拡大し続けて、RRP を実施するパッケージ工場で需要が増大していくとみられています。

## 技術的課題

革新的なブランドデザインは小売店陳列用パッケージ (RRP) の重要な要素であり、包装の外観が消費者に注目されるために欠かせませんが、商品説明、品質、消費期限など商品必須データの印字が、消費者の注意をブランドイメージからそらしてしまう可能性もあります。包装工程では、印字関連の法規制に配慮しながらも RRP が増加し、社内のコスト削減圧力と並行して魅力的で強力なブランドイメージをとまなう包装が求められるなど、諸条件のバランスを取りつつ梱包を行うのが難しくなっています。

## ビデオジェットの長所

当社は、固着性、乾燥時間やコントラスト比などのインク性能、そしてお客様のインライン印字工程への装置のシームレスな統合が重要であると認識しています。しかしそれと同様に重要なのは、お客様が印字情報を生産性、効率性、商品の売れ行きの迅速化に有効に活用できることです。ビデオジェットには、印字用途に関する専門家やインク関連専門の化学者のチームがおり、カラーなどのシンプルな印字特性がビジネス強化の強力な原動力になることを知っています。たとえば最近、紙と建材の大手欧州企業が、外装パッケージのインライン工程で当社のスポットカラー印字を導入し、この企業はブランドを強化しただけでなく、廃棄物とサプライチェーンの非効率性の削減に成功しました。この企業にとってブランドカラーは非常に重要で、その色は持続的成長を支持する環境問題に対するこの企業の姿勢を表しています。さらに、この企業では他のスポットカラーを外箱に多数活用することで在庫の仕分けを簡易化して、製品の選別エラー数を低減し、サプライチェーンでの大幅な効率アップを達成することができました。

当社は、640 種類を超えるインクと溶剤を取り揃えており、包装の技術的課題を解決するためだけではなく、事業の業績向上でも特定用途向けインクは大きく貢献できると考えています。先ご提供を開始した高解像度、高品質の各種カラーインクは、特に外箱包装向けに配合されており、カラーを使用してビジネス目標を達成する新たなツールとして利用していただけます。

# なぜ小売店陳列用のパッケージの需要が伸びているのか？



日用品 (FMCG) 市場では、TV、ラジオ、映画など従来のメディアチャネルの細分化の影響を受けて、店頭での価値提案のインパクトに対する意識の高まりもあり、多数の小売業者やブランドオーナーが RRP を求める状況があります。その結果、小売店舗はこれまで以上に強力なマーケティング環境になりつつあります。

このため、デコレーション付きダンボール箱への世界的な需要は、ダンボール箱全体の増加率の 2 倍の勢いで拡大する見通しです。



先進国と新興国双方のあらゆる地域の小売業界で構造的変化が見られます。その主な傾向には次があります。

- ・スーパー/ハイパーマーケットが持つシェアが継続的に伸びていることで、小売店陳列用パッケージの採用が増加しています。
- ・ディスカウントストアのシェアの成長によって、この種の小売店陳列用パッケージがさらに拡大するのは明らかです。この傾向は欧州で顕著に見られ、デコレーション付きで白のインナーライナーを組み入れた陳列ケースが増えています。対照的に米国のディスカウント市場では、ダンボール箱のまま未開封状態の商品が購入されています。
- ・ガソリンスタンド、レジャーセンター、フードサービスのアウトレットなどの、多様なコンビニエンスストアや他のアウトレットが増加。このような新しい小売り形態は、入荷した商品をそのまま販売する販売方法を後押しし、その小売り方法に合わせて製品や梱包は、簡単に運べるように、比較的小ぶりのサイズにシフトしています。



欧州では、FMCG の段ボール包装の約 50%が小売店陳列用パッケージとなっています。さらに米国でもこのタイプの包装が増えつつあり、先ごろ DS Smith 社と RockTenn 社が発表した 2 ピース型の小売陳列用パッケージに関するライセンス契約合意にもその傾向の一端が見られます。

新興市場では、西欧型スーパーマーケットチェーンの投資による企業買収、協同ベンチャー、新規進出が近代的な食料品小売業拡大の原動力となっています。多くの新興国では、RRP の需要にパッケージ製造工場が依然として完全には対応できない状況で、近代的なサプライチェーンや物流のトレンドに合わせていくためには、実質的なインフラ整備が必要です。

需要が増大するほど、検討すべき課題も多くなります。

---

「RRP（小売店陳列用パッケージ）は、間違いなく FMCG（日用消費財）市場用の段ボール包装のあり方を大きく左右する小売業界のニーズです。」

---

Lin Zhu  
(Ph.D.)

部門長- インク開発



# 包装製造工場が 直面する新たな課題



「小売陳列用パッケージ」の導入は、小売現場での商品陳列の迅速化、在庫切れの削減、商品生産性の強化などを実現し、お客様に多様なメリットをもたらします。一方で、より多くのデコレーションをとるダンボール箱は、包装の生産現場に下記を含む新たな課題をいくつかもたらします。

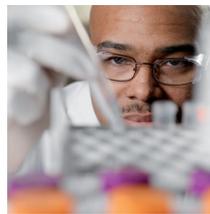
SKUが増加すると、その波及効果によって倉庫や保管スペースを増やす必要性が生まれ、ビジネス全体のコストを押し上げます。デコレーション付のさまざまな段ボール箱を数多く使用すると、製品の切り替えの頻度が高まり、生産管理が複雑化しがちです。

デコレーション付き段ボール箱の多くは事前に印刷されたデザインを使用しており、包装のカスタマイズ化の最終段階での変更範囲に制約があり、パッケージ製造の柔軟性を損ないます。さらにデザイン変更のために既存の包装が廃棄処分になり、廃棄物量の増加につながります。これにより、コスト増加と不必要な廃棄物がビジネスにのしかかるばかりでなく、新しい包装のデザインとパッケージ生産が始まるまでの時間が発生するので、顧客先への納入遅延の原因にもなります。

1. SKUの拡大
2. 倉庫管理費の上昇
3. プレプリント包装の複雑化
4. 「最終段階間際」でのデザイン変更の要求
5. 廃棄物の増加



当社の産業用インクジェットプリンタ（大文字用）Videojet 2300 シリーズは、このような問題を解決するために開発された段ボール箱向けの高解像度のインクジェットプリンタです。この製品シリーズは信頼できる印字精度と高品質を実現し、リアルタイムで英数字、バーコード、グラフィックスを印字するために設計および製造されています。外箱向けの大文字用インクジェットプリンタを利用することで、事前に印刷しておかなければならない情報量を減らすことができるので、コスト効率に優れた柔軟性の高い印字ソリューションとなります。



## 9 か月間で 128,000 ポンド （約 2,150 万円）を節約!

ビデオジェットは、このような問題を抱える英国のある大手スナックメーカーから相談を受けました。この企業は、定期的に販促キャンペーンを行っている多くの種類の製品用に、多数の異なる仕様の事前印刷済みの外箱を購入しました。多数の SKU（最小在庫管理単位）に対応するために、生産コストがたびたび上昇し、不要になった包装材の廃棄費用に限っても年間 2 万ポンド（約 336 万円）が支払われていました。

ビデオジェットの印字ソリューションの採用によって、プレプリント内容の一部が内製化できて、工場は柔軟にニーズに応えることができる箱を多数生産できるようになりました。つまり任意の特注メッセージが印字可能になり、メッセージやブランドの変更が迅速にできるようになりました。これにより、同社は SKU を 112 から 20 に大幅に減らすことができました。さらに、倉庫の省スペース化、運転資本の削減、廃棄物の減量を実現し、9 か月間で 128,000 ポンド（約 2,150 万円）を節減できました。

# ブランド力を強化する カラーインク



小売店陳列用パッケージを採用した場合、これまでに述べた課題の他にも、ブランド力が弱まる外観や、競合する他社ブランドより注目度が低い表示など、懸念される包装のリスクは尽きません。そのため、ブランドマーケティングの専門スタッフは自社製品の包装デザインに多くの点で気を配ることが求められます。

---

「ビデオジェットは、販売の現場で消費者に商品価値を十分伝えてブランドの確立と店頭売り上げの増進を図りたいという当社のお客様のニーズ、そしてそのためにマーケティングと販促で最大の効果が出せる包装が求められていることを理解しています。」

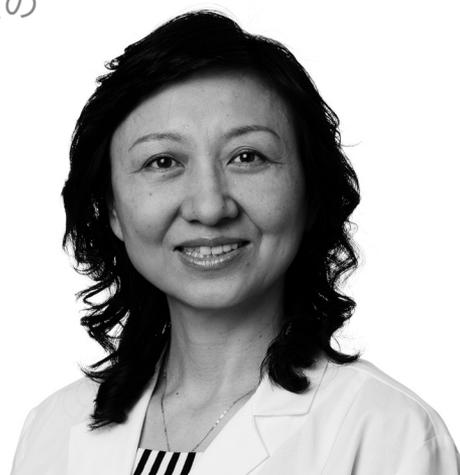
---

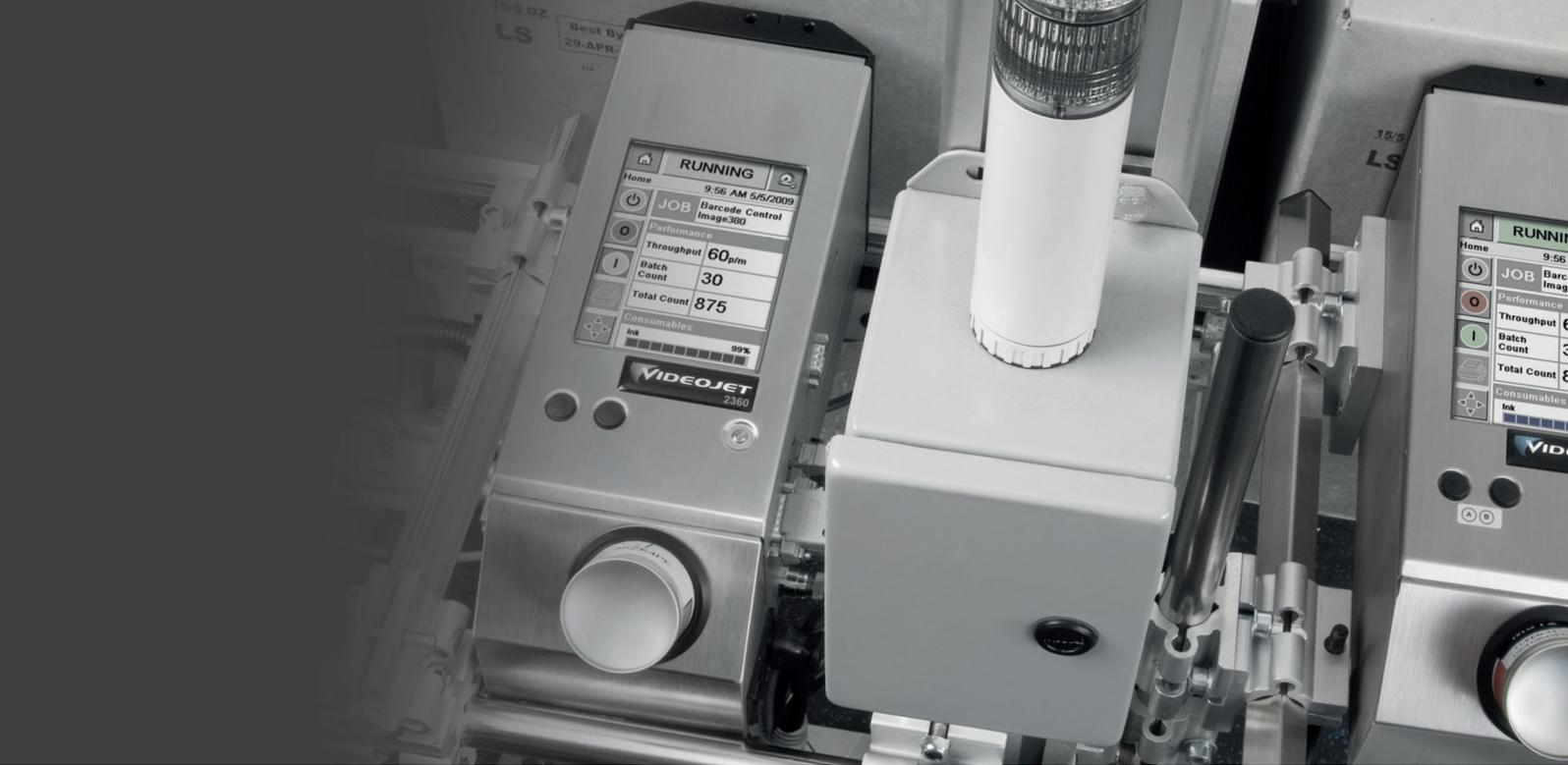
Ping He  
(M.S.)

スタッフケミスト  
分析、表面分析、素材分析

その結果、ブランドマネージャーが優先したい事項と生産ラインチームが優先したい事項のいずれを重要視するかで対立が発生しかねません。ビデオジェットは、ブランド価値を補強できる新しいインクを提供することで、お客様企業におけるこのような問題を解消します。6種類の明るいカラーインクから最適な色を選んでいただくことで、パッケージデザインと調和する形で、必須の製造関連情報を梱包工程で印字できるようになります。

インクジェットプリンタのカラーインクを使用することで、視覚的な機能性と注目度が強化できるだけでなく、さらに高い品質と耐久性を持つ印字によって本来の目的であるトレーサビリティをも維持できます。





ビデオジェットのカラーインクは、幅広い多孔性の用紙や再生素材を多く含む用紙などの様々なグレードのボール紙素材で、高いパフォーマンスを発揮します。

汎用または特殊用途の両方で、ビデオジェットのカラーインクは幅広い業界と用途条件において多様なメリットをもたらすように開発されています。

特に、小売店陳列用のパッケージを生産する工場には、デコレーション付きの段ボール箱に付随する技術的課題を解決しつつ、魅力的な印字ができるというメリットをもたらします。

## カラーインクを使用する主なメリットには次があります。

- ・ 多様な製品種類を異なる色で識別できます。
- ・ 印字内容を企業のイメージとリンクできます。
- ・ 包装デザインのインパクトを強化する色を使用することで市場へのアピールが最大化できます。
- ・ スポットカラーを品質管理や在庫整理に活用して、目視による工場管理が促進できます。
- ・ カラーインクを使用することでプレプリントする情報量を削減し、「小売店陳列用パッケージ」の生産性が強化できます。

## ビデオジェットのインク専門開発者が新たなカラーインクの開発に使用する顔料配合は、次の特長によって印字事故防止技術のメリットをさらに高めます。

- ・ 染料ベースの配合に比べて、紫外線への耐性と退色耐性が強化されます。
- ・ 冷蔵または冷凍の包装など環境条件によってある程度の結露が生じる用途で、染料ベースの配合と比べて耐水性が高まります。
- ・ 幅広い素材の印字面で高品質な印字が可能です。
- ・ 鮮明な印字がバーコードの読み取り精度を最適化します。



## 最終収益

小売店陳列用のパッケージ (RRP) の需要増大に合わせていかなければならないパッケージ製造工場は、将来の事業ニーズを見越した印字ソリューションを選択するために、十分な情報を収集しておく必要があります。ビデオジェットには、生産の効率性を高める各種の革新的な印字ソリューションのご用意があり、さらに幅広いカラーインクを提供することで、お客様の包装デザインが目指す目標を達成するお手伝いをさせていただきます。

ビデオジェットは、お客様の生産目標と製品性能を実現できるプリンタとインクの組み合わせを提案させていただきます。詳細については是非当社にご相談ください。

TEL: 0120-984-602  
E-mail: [info@videojet.co.jp](mailto:info@videojet.co.jp)  
URL: [www.videojet.co.jp](http://www.videojet.co.jp)

ビデオジェット社  
〒135-0064 東京都江東区青海 2-5-10  
テレコムセンタービル 西棟 6F

©2015 ビデオジェット社— All rights reserved.

ビデオジェット社は常に製品の品質向上をめざしており、お客様への予告なく設計や仕様を変更する場合がありますので、ご使用に際しては最新の情報をご確認ください。

20151019

 **VIDEOJET**